

第8回（平成26年3月期）番組審議会議事録

1. 開催日時 2014年3月26日（水）17:00～18:00

2. 開催場所 弊社会議室

3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員 6名 為岡務・正岡健二・木辻清子・山本幸男・宮川清・増田匡

欠席委員 1名 中村忠司

放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

番組審議

第8回審議番組「ステーションキャンペーン VOICE OF FUKUSHIMA 編」（60分）

2月16日、23日、3月2日、9日（日） 21:00～22:00 放送

ナレーション：金千秋（FM わいわい）

「VOICE OF FUKUSHIMA」：U3W 制作

ナビゲーター：久保田彩乃さん（おおつちさいがいエフエム）

お話をうかがっている方：

小笠原隼人さん（チャイルドラインこおりやま事務局長）

名嘉幸照さん（福島県双葉郡富岡町民、元原子力発電関連企業社員）

宮本皓一さん（富岡町民）

遠藤智さん（双葉郡広野町長）

品川萬里さん（郡山市長）

この番組は、FM わいわいとして広く社会に訴えたい事柄をテーマに掲げて制作している番組で、一月毎に内容が変わる。

今回は「VOICE OF FUKUSHIMA」（毎週火曜日 14:00～14:15）で放送された福島県民のいろいろな声を編集した内容である。

「VOICE OF FUKUSHIMA」は福島第一原子力発電所から10km圏内にあたる双葉郡富岡町が全町避難し、多くの町民が暮らしている郡山市に開設された臨時災害エフエム局「おだがいさまエフエム」で放送されている番組で、FUKUSHIMAに関わるいろいろなメディアの人たちの協力で作成されている。FM わいわいでは2013年7月クールから放送している。

5. 議事の概要

番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 出席者の審議

【山本幸男委員】

- ・ 技術者の方の話、原発に仕事として携わっていた人の心境を聞いたのが良かった。
- ・ ナビゲーターの声が小さかった。

【増田匡委員】

- ・ 福島に住んでいる人たちの生の声を聞くことができるのはとても意義がある。
- ・ ナレーションの金さんのコメントが心に残った。

【木辻清子委員】

- ・ せっかくの話だがBGMが耳障りで集中して聴けなかった。
- ・ 沖縄出身で原発関連の仕事をされていた方のお話が印象に残った。

【宮川清委員】

- ・ バックの音がうるさく感じた。FM わいわいが口を出せるものではないかもしれないが…。

- ・ 名嘉さんの原発の処理の話は珍しい内容であった。
- ・ 金さんがラストに「人間メディアになってください」と呼びかけていたのが、とても良いコメントだと思った。

【正岡健二委員】

- ・ BGMのリズムが話し方とかみ合っておらず、音と声がずれてくるととても聴きづらかった。
- ・ 内容も人選も良かった。特に首長の3人はタイプも考え方も違って、意図的に編集したのだとしたら素晴らしい。
- ・ マスメディアは自らに規制をかけていると思われるが、そうではないコミュニティの目線を絶やさず、真実を伝える放送をこれからも期待する。

【為岡務委員長】

- ・ 生の声を聞くと、自分自身何ができるのか、何を伝えていけるのかと自分に問うてしまう。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 福島県にある臨時災害エフエム局は、マスメディアでは作ることができない物を放送したい、それを県外の人たちに伝えたいという気持ちが強い。
- ・ 福島県から移住した方などいろいろな人たちにもっと取材したいと語っていた。
- ・ 自分自身が信じていたものが失われたと感じている方の声は外せないと思いながら編集した。エレベーターに乗っている時、パソコンを使っている時、電気を使っている時に FUKUSHIMA を思い出してほしい。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日
担当者に連絡（平成 26 年 5 月 13 日）
8. 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日
公表内容…議事の内容
公表方法…自社放送（平成 26 年 5 月 17 日 12 : 00 ~ 13 : 55 の番組内で放送）
事務所に議事録の備置き（平成 26 年 5 月 20 日）
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?cl=13-98>
9. その他参考事項
特になし

以上